

お知らせとお願い

鹿児島市立病院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。
本研究の対象者に該当する可能性があると思われる方で、本研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	脳動脈瘤クリッピング術の確立に関する臨床的研究
実施予定期間	倫理審査委員会承認後 ～ 2024年3月31日
研究の対象	(対象期間・対象診療科・対象疾患) 2020年1月1日から2023年5月31日までに、鹿児島市立病院 脳神経外科にて脳動脈瘤の手術を受けられた方
使用する情報等	年齢・性別・脳動脈瘤の破裂/未破裂・脳動脈瘤の部位・術前と退院時のmRS(modified Rankin Scale)、手術関連情報(手術日・手術方法・手術時間・クリップ操作時間・使用したクリップの種類と個数) 等
研究の概要	脳動脈瘤に対する直達手術の代表である脳動脈瘤頸部クリッピング術は長い歴史を持つスタンダードな治療法である。脳神経外科手術は肉眼手術に始まり、その後長く続いた顕微鏡手術時代を経て、近年、外視鏡が導入された。これにより、視認性の向上、術者の肉体的負担の軽減、情報共有が各段に進歩した。また脳動脈瘤クリッピング術に用いられるクリップは素材の改良は行われたものの、クリップの基本設計はほぼ同じYasargil型が踏襲されてきたが、近年、従来と全く異なる形状の新型クリップが考案された。 鹿児島市立病院では外視鏡を2021年7月に導入し、また新型クリップは2022年9月に全国でもいち早く導入し、現在ではほぼ全ての手術を外視鏡下に行っている。本研究の目的は、外視鏡、新型クリップが、脳動脈瘤頸部クリッピング術にどのような効果をもたらしたかを後方視的に明らかにすることである。手術時期により、外視鏡下に新型クリップを用いた群、外視鏡下に従来型クリップを用いた群、顕微鏡下に従来型クリップを用いた3群に分け、患者背景、手術成績(手術時間、クリップ操作時間、予後)、使用したクリップ等の状況を比較する。 これにより、外視鏡、新型クリップを用いた脳動脈瘤頸部クリッピング術が、脳動脈瘤に対するスタンダードな手術法として確立され则认为。
倫理審査	鹿児島市立病院治験及び臨床研究審査委員会承認され、病院長の許可を受けて実施しています。
個人情報の保護	収集する情報項目に氏名や住所は含まれません。研究対象者の識別は研究目的に特別に割り振られた研究番号を使って管理し、対応表を作成します。対応表が院外に出ることはありません。
研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。
結果の公表	研究結果は国内外学会での発表及び論文として関係雑誌に投稿予定です。
知的財産権	本研究により得られる知的財産権は鹿児島市立病院に帰属します。
研究の資金源	本研究を実施するにあたり、資金提供は受けていません。
利益相反	特にありません。
お問い合わせ先・	病院ホームページにおいて研究について公開し、お問い合わせ等に応じて、患者さん等からのご希望があれば、その方の情報は研究に利用しないようにします。

